

月.

- 27) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 歯を失うと寿命にも影響? 80 歳女性で“咬合支持”の重要性が明らかに. HealthDay Japan 国内ニュース, 2025 年 11 月 4 日.
- 28) 小川祐司: 国際交流活動の現状と展望. 新潟大学歯学部創立 60 周年記念講演会, 新潟市, 2025 年 11 月 1 日.
- 29) 小川祐司: UHC とオーラルヘルス課題と今後. 第 25 回深井健康科学研究所コロキウム, 東京, 2025 年 10 月 26 日.

う蝕学分野

【論文】

- 1) Asahi Y, Kuriki N, Okamoto M, Motooka D, Nakamura S, Maezono H, Kittipit Klanliang, Shimaoka T, Iida T, Ebisu S, Noiri Y, Hayashi M: Microbiome of apical intracanal and extraradicular biofilms from the same roots of teeth with persistent apical periodontitis: an observational study. *Int Endod J*, 59(5), 806-818, 2026.
- 2) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba N, Takahara S, Gomez-Kashimoto S, Ida T, Edanami N, Yoshiba K, Takenaka S, Noiri Y: Hyperglycemia in obese type 2 diabetes mellitus rats affects pulp wound healing. *J Oral Biosci*, 67(4): 100683, 2025.
- 3) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Role of dystrophic calcification in reparative dentinogenesis after rat molar pulpotomy. *Int J Mol Sci*, 26(15): 7130, 2025.
- 4) Takahara S, Ohkura N, Yoshiba N, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba K, Noiri Y: Influence of tooth maturity on healing outcomes in regenerative endodontics. *J Dent Res*, 104(10): 1147-1157, 2025.
- 5) Edanami N, Yoshiba K, Ibn Belal RS, Yoshiba N, Takenaka S, Ohkura N, Takahara S, Ida T, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kasimoto S, Thongtade P, Noiri Y: Expression of small integrin-binding ligand N-linked glycoproteins during early pulp wound healing in rat molars (SIBLNG proteins in early pulp healing). *ODEP*, 5(1): 44-53, 2025.

【商業誌】

- 1) 野杵由一郎: 口腔ケアロボット『g.eN』の歩み. 日

本歯科評論: 85(7) 116-119, 2025.

- 2) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療③ - 第 3 回長生きを切り拓く口腔ケアロボットの未来につながるイベントについて - . 大阪歯科保険医新聞 1545: 4-4, 2026.
- 3) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ②削って詰めるから診て管理するへ - . 大阪歯科保険医新聞 1541: 4-4, 2025.
- 4) 野杵由一郎, 佐藤莉沙子: 新潟大学のう蝕予防プログラム (NUCRA) への唾液のう蝕関連細菌検査「サリバチェックラボ」の活用. *GC サークル* 196: 14-19, 2025.
- 5) 野杵由一郎: 『研究講座』 AI 時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療 - ①Modern endodontics の実際と技術革新後の歯内療法 - . 大阪歯科保険医新聞 1537: 4-4, 2025.
- 6) 野杵由一郎: これからのう蝕予防管理—歯科衛生士の役割と対応. *歯科衛生士だより* 88:1-3, 2025.

【研究費獲得】

- 1) Noiri Y, Takahashi R, Sotozono M, Takenaka S, Komatsu Y: A comprehensive analyses of the microbiome and their function in root caries using a next-generation sequencing. Nakao Foundation Worldwide for Oral Health The 6th Foundation Nakao, J25G0072-2, 2025.
- 2) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 山村昌平, 瀧脇雄介, 野杵由一郎: 在宅高齢者の誤嚥性肺炎リスクを感知する血中抗体価を指標とした携帯型迅速検査の創出. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (B), 24K02763, 2025.
- 3) 井田貴子, 大倉直人, 野杵由一郎: 細胞外微小環境制御因子としての 5 型コラーゲンを新機軸とした炎症制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 25K13002, 2025.
- 4) 大倉直人, 立川正憲, 中馬吉郎, 吉羽永子, 竹中彰治: 口腔-脳連関での *P. gingivalis* 外膜小胞の内在化機構および送達経路の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 25K13017 2025.
- 5) 枝並直樹, 野杵由一郎: ラット実験モデルを用いた各種歯内療法後の新生セメント質形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C), 23K09164, 2025
- 6) 竹中彰治, 茂呂寛, 清水詩子, 野杵由一郎: 認知症に対応し在宅看護を支援する感染バイオマーカーの携帯型迅速検査デバイスの開発. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究 (萌芽), 24K22229, 2025

- 7) 外園真規: *In situ* デンタルバイオフィルムモデルを用いたプロバイオティクスの評価. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 24K19874, 2025.
- 8) 永田量子: 磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の分離培養法を確立し口腔 *Dysbiosis* を検索する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 918713, 2025.
- 9) 高原信太郎: 活性酸素種除去剤を併用した異種歯髄幹細胞移植による新規再生歯内療法の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 25K24062, 2025.
- 10) 齋藤瑠郁: 非感染性疾患への応用を見据えた免疫調節作用による新規歯周炎治療薬の開発. 日本学術振興会科学研究費基金 特別研究員奨励費, 25KJ1339, 2025.
- 11) 大倉直人: 細胞外小胞内在化機構を利用した新規薬物輸送技術の創出. 令和7年度新潟大学 U-go グラント, 2025
- 12) 高橋竜平, 竹中彰治, 野村由一郎: 根面う蝕の新規病因論の創出と病態概念のイノベーション研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025.
- 13) 佐藤大地, 外園真規, 野村暢彦, 野村由一郎: *In situ* dental biofilm から得られた外膜小胞 (Membrane vesicle; MV) を標的に病原性バイオフィルムの制御を目指す研究. 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, J25H0001, 2025
- 14) 野村由一郎: 長生きを切り拓く一口腔ケアロボットのmiraいにつながる臨床研究を!. クラウドファンディング, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Naoto Ohkura: Analyses of internalization mechanism and transporting pathway of outer membrane vesicles derived from *Porphyromonas gingivalis*. International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) 野村由一郎: 『長生きを切り拓く 一口腔ケアロボットの”未来”につながる研究』. 第9回ACFF日本支部総会・特別講演・研究成果報告, 東京, 2026年3月15日.
- 3) 野村由一郎: ・なぜ痛みは起きるのか?—しくみと緩和のヒント 講演2: 『知る・診る・対応する 歯の痛みと象牙質知覚過敏症』. 新潟大学医学部医学科 第13回学外会議 2026, 新潟, 2026年3月7日.
- 4) 野村由一郎: 『歯や口腔の疾患とバイオフィルム—AI時代の口腔疾患の予防と対策—』. 第一三共ヘルスケア株式会社 2025年度研究成果発表会特別講演, 東京, 2026年3月2日.
- 5) 野村由一郎: 講演3: 『長生きを切り拓く一口腔ケアロボットの”未来”につながる包括的検討—』. 第29回日本抗加齢歯科医学研究会, 東京, 2026年2月14日.
- 6) 野村由一郎: 震災時の口と歯のケアに関する講演会. 気仙沼市立中学における口と歯の教育講演会, 気仙沼, 2025年12月1日.
- 7) 野村由一郎: 新潟大学病院歯科におけるう蝕予防管理システムの臨床的評価. 第9回国公立大学歯科臨床研究推進会議, 博多, 2025年9月29日.
- 8) 野村由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 沖縄県歯科医師会 令和7年度歯科医療従事者技術向上支援研修会, 那覇, 2025年9月5日.
- 9) 野村由一郎: AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療. 2025年度大阪府歯科保険医協会 特別講演会, 大阪, 2025年7月13日.
- 10) 竹中彰治: デンタルバイオフィルム制御の最前線 II-洗口液の普及トリプルA(3A)-. 第39回日本バイオフィルム学会学術集会ランチョンセミナー, 新潟, 2025年7月6日, 同学術集会プログラム・抄録集: 22頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Shoji Takenaka, Ryouhei Takahashi, Rui Saito, Daichi Sato, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri: THE EFFECTS OF PROBIOTIC AND ESSENTIAL SUPPLEMENTS ON PERIODONTITIS-ASSOCIATED BIOFILMS, International Collaborative SYMPOSIUM on Development of Human Research in Practical Oral Health and Treatment 2026, Kuala Lumpur, 8-9 February 2026.
- 2) Momoka Kondo, Naoto Ohkura, Mai Inagaki, Shoji Takenaka, Sakura Mana, Masanori Tachikawa: Transport characteristics of periodontal pathogen *P. gingivalis*-derived nanoparticles at the human blood-brain barrier. Cerebral Vascular Biology (CVB) 15th International Conference 2025, Ann Arbor, USA, 2025, June 29-July 2nd, 2025.
- 3) 國友麻友, 大倉直人, 近藤もも香, 矢田浩晃, 稲垣舞, 立川正憲: 歯周病原菌由来外膜小胞の脳内分布: 神経細胞および軟髄膜への集積. 日本薬学会 146年会, 大阪市, 2026年3月29日, 2026.
- 4) 稲垣舞, 大倉直人, 立川正憲: ヒト血液脳関門にお

ける歯周病原性細菌由来ナノ粒子の輸送システム. 第 48 回日本分子生物学会年会, 横浜, 2025 年 12 月 4 日, 2025.

- 5) 佐藤莉沙子, 竹中彰治, 齋藤瑠郁, 野杵由一郎: 新潟大学版う蝕リスク評価法を用いたう蝕予防管理の有効性. 日本歯科保存学会 2025 年度秋期学術大会(第 163 回), 長崎, 2025 年 11 月 7 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラム: 82 頁, 2025.
- 6) 高原信太郎, 大倉直人, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, Pemika Thongtade, 竹中彰治, 廣瀬陽菜, 吉羽永子, 松崎英津子, 野杵由一郎: 異種歯乳頭由来幹細胞を用いた再生歯内療法における有用性の評価. 日本歯科保存学会 2025 年度秋季大会 (第 163 回), 長崎, 2025 年 11 月 6 日, 2025 年度秋季大会 (第 163 回) プログラム: 79 頁, 2025.
- 7) 大倉直人, 立川正憲, 大嶋淳, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, 高原信太郎, Susan Gomez Kasimoto, 竹中彰治, 吉羽永子, 野杵由一郎: *P. gingivalis* 由来外膜小胞の内在化機構および輸送経路の同定. 第 68 会秋期日本歯周病学術大会, 新潟, 2025 年 10 月 17 日, 日本歯周病学会誌 67 巻 suppl-2 号, 141 頁, 2025.
- 8) Pemika Thongtade, 大倉直人, 佐藤友里恵, Rosa Baldeon-Gutierrez, 高原信太郎, Meiwan Fang, Meircurius Surboyo, Susan Gomez-Ksimoto, 吉羽永子, 野杵由一郎: Wound healing reaction after pulpotomy of maxillary molars in SARM1 knockout rats. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 7 日, 第 67 回歯科基礎医学会学術大会抄録集 77 頁, 2025.
- 9) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: マクロライド誘導体 EM982 の Toll-like receptor 2 シグナルに対する作用解析. 第 67 回歯科基礎医学会学術大会, 北九州, 2025 年 9 月 5-7 日, 同学術大会抄録集: 119 頁, 2025.
- 10) 大倉直人, 井田貴子, 山本信一, 竹中彰治, 野杵由一郎: 高齢者へのう蝕処置に対して全部断髄を行った 1 症例. 第 46 回日本歯内療法学会学術大会, 塩尻, 2025 年 7 月 19-20 日, 日本歯内療法学会学術プログラム・抄録集, 116 頁, 2025.
- 11) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 竹中彰治, 野杵由一郎, 寺尾豊: エリスロマイシンを改変した免疫調節薬の開発研究. 令和 7 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2025 年 7 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 55(2): 19-20 頁, 2025.
- 12) 佐藤大地, 大倉直人, 外園真規, Rosa Baldeon-Gutierrez, Susan Gomez-Kasimoto, 高原信太郎, Jutharat Manuschai, 井田貴子, 竹中彰治, 野杵由一郎: ヒト歯髄幹細胞およびマウス前骨芽細胞における歯周病関連細菌 *Porphyromonas gingivalis*,

Fusobacterium nucleatum が放出する外膜小胞の内在化機構解析. 第 39 回日本バイオフィルム学会学術集会, 新潟, 2025 年 7 月 6 日, 第 39 回日本バイオフィルム学会学術集会プログラム・抄録集: 46 頁

- 13) Susan Gomez-Kasimoto, Naoto Ohkura, Rosa Baldeon-Gutierrez, Shintaro Takahara, Takako Ida, Naoki Edanami, Shoji Takenaka, Nagako Yoshiba, Yuichiro Noiri: Impact of high Glucose on differentiative potency in periodontal ligament cells and dental pulp stem cells. 日本歯科保存学会 2025 年度春季大会 (第 162 回), 松山, 2025 年 6 月 6 日, 2025 年度春季大会 (第 162 回) プログラム: 73 頁, 2025.
- 14) 井田貴子, 大倉直人, Gomez Kasimoto Susan Kiara, Rosa Baldeon-Gutierrez, 枝並直樹, 竹中彰治, 野杵由一郎: 歯根膜における 5 型コラーゲンの組織学的解析, 日本歯科保存学会 2025 年度春季大会 (第 162 回), 松山, 2025 年 6 月 5-6 日, 2025 年度春季大会 (第 162 回) プログラム: 23 頁, 2025.
- 15) 佐藤莉沙子, 外園真規, 野杵由一郎: 全自動歯ブラシ g.eN の有用性とマウススクリーンジェル(MA-T®)の効果に関する研究. 第 68 回春季歯周病学会学術大会, 那覇, 2025 年 5 月 24 日, 日本歯周病学会誌 第 67 巻(春季特別号): 150 頁, 2025.

【研究会発表】

- 1) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 磯野俊仁, 寺尾豊: 免疫調節作用を有するエリスロマイシン誘導体の探索とその作用解析. 第 10 回口腔微生物研究会, 北九州, 2025 年 9 月 8 日.

【受賞】

- 1) 高原信太郎: Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics.新潟大学学生優秀論文賞, 新潟大学研究推進機構, 2025 年 8 月 7 日
- 2) 大倉直人: SVCT2-GLUT1 mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. 2025 年度 日本歯科保存学会学術賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 3) 大倉直人: 歯髄創傷治癒および歯髄再生過程におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析. 2025 年度 日本歯科保存学会 ジーシー優秀論文賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 4) 齋藤瑠郁: 日本歯科保存学会 奨励賞, 2025 年 6 月 5 日.
- 5) Rosa Baldeon-Gutierrez : Wound-healing Processes After Pulpotomy in the Pulp Tissue of Type 1 Diabetes Mellitus Model Rats. Ashraf F. Fouad Basic Science

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 大島邦子ほか:小児在宅歯科医療の手引き 第2版. 公益社団法人 日本障害者歯科学会 診療ガイドライン作成委員会, 医歯薬出版, 東京, 2025.
- 2) 福井朝望ほか:口腔機能発達不全症の診断(離乳完了後). 患者にしっかり説明できる口腔機能発達不全症読本, 42-72頁, クインテッセンス出版, 東京, 2025.
- 3) 早崎治明:第63回日本小児歯科学会大会② 生涯の確かな礎を目指して 小児歯科を取り巻く環境の変化 - 歯科衛生士の人材育成と市場の現状 -. 月刊小児歯科臨床 12月号, 22-27頁, 東京臨床出版, 東京, 2025.
- 4) 福井朝望ほか:口腔機能発達不全症についての取り組み. 日本アンチエイジング学会 学会誌華齡 vol.18 総説2, 27-30頁, 2025.12 学会 HP 掲載
- 5) 大島邦子:重症心身障害, 感覚器障害および発音・構音障害. 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第4版, (野本たかと 他編), 36-37頁, 48-50頁, 永末書店, 京都, 2026.
- 6) 中村由紀:26 小児歯科・口腔外科疾患 口臭. 今日の小児治療指針 第18版(伊藤秀一 他編), 904頁, 医学書院, 東京, 2026.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Intentionally perforating the pulp chamber floor promotes M2 macrophage polarization in the dental pulp following tooth replantation in mice. *J Oral Biosci* 67(3): 100681, 2025.
- 2) Tsukuno S, Nakamura Y, Nakajima T, Sasakawa Y, Hozawa M, Sotome T, Yonemoto Y, Imamura T, Hayasaki H: Food-capture patterns and their influence on respiratory behavior. *Appetite* 214: 108189, 2025.
- 3) Kusashio N, Hasegawa Y, Yoneda H, Shiramizu M, Nakamura Y, Yamamoto T, Ono T: The Impact of Asymmetrical Occlusion on Children in the Mixed Dentition Period: A Cross-Sectional Study. *Int J Paediatr Dent* 36(2): 288-297, 2026.

【研究費獲得】

- 1) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人, 佐野拓人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節によ

る歯髄再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 23K09411, 2025.

- 2) 朴沢美生: 複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19683, 2025.
- 3) 築野沙絵子: 小児において食品の種類や摂取方法は捕食時呼吸運動に影響を及ぼす. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K20076, 2025.
- 4) 松原まなみ, 早崎治明, 中村由紀: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10901, 2025.
- 5) 中村由紀: 離乳食の『食べ方』支援を強化するスマートフォン画像解析評価システムの構築. 令和7年度 JSPF 研究助成, 2025.
- 6) 清水唯菜: 口腔衛生指導がもたらす一時保護施設入所児のセルフ・エスティーム向上の可能性. 公益財団法人富徳会研究助成 歯科衛生学および歯科衛生教育学研究者研究助成金, 2025.
- 7) 高野聖真: RGB-D カメラを用いた摂食時口唇運動の客観評価. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト) 研究費, 2025.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 中村由紀: 我々の一時保護施設における口腔衛生支援 - 実践と展望 -. 第10回日本子ども虐待防止歯科研究会・学術大会, 新潟, 2025年11月30日, 同学術大会プログラム・抄録集: 10頁, 2025.

【学会発表】

- 1) Fukui A, Hori Y, Terajima M, Bando R, Kiyokawa Y, Ibano N, Iwase Y, Saitoh I: Oral management in childhood using oral function training, lingual frenotomy, and a tongue crib. Korean Academy of Pediatric Dentistry 2025 Conference, Seoul, South Korea, 2025年4月26-27日, 2025.
- 2) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Quispe-Salcedo A, Okada Y, Sato T, Ohshima H: Early revascularization promotes M2 macrophage polarization following tooth replantation. 2025 IADR APR Conference & 35th ISDR Conference, New Delhi, India, 2025年9月18-21日, 2025.
- 3) Fukui A, Kajimoto K, Ohshima A, Mizuno N, Terajima M, Iwase Y, Saitoh I: A Case of Oral Function Management After Early Occlusal Treatment for a Child with Functional Class III Malocclusion. International